
冒険したっていいじゃない、スライムだもの

神影

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

冒険したっていいじゃない、スライムだもの

【Zコード】

Z4547U

【作者名】

神影

【あらすじ】

何かすごい能力を持つたスライムが
勇者を手助けするお話

第一話（前書き）

11 / 14 一から書き直しました

第一話

「は、皆さんが今この世界とは違つ、異世界にあるフライスト王国。

そして、時は王国歴792年、後に暗黒時代と呼ばれることがなるこの時代。この国の辺境の村の近くにある森、そこで物語は始まりはじめる。

? ? ? S . h e

「待て！」

「待てと言われてどうに待つ奴がいるんだ、この馬鹿！」

一つ目のセリフを言ったのが俺だ。

ここは村の近くに位置する魔物の住む森の中。

その森で今、俺は命をかけた追いかけっこをしている。相手は剣

を持つているのに対し、俺は素手で。

何故こんなことになつたのかを説明したいと思つので、とりあえず聞いてくれ。

疲れた。それしか言つことがない。

俺は今木の上で寝ている。

なぜこんなことになってしまったかと云ふと、森の狩猟中にランクCのレッドベアーに遭遇してしまい、全力疾走で逃げるところ

ベントがあつたからだ。

全力疾走は俺たちにとつてはかなりの重労働となる。
そのせいでくたくたになり、今に至る、といつわけだ。

早いけど、もう寝ようかな？

そんなことを考えていた時だった。

ふと森の入り口の方を見ると、

そこには人間がいた。

第一話（後書き）

次回予告

幾重にも張り巡らされたはずの結界・・・
それを乗り越えてきた人間の正体とは?
つて、あいつは？

次回「結界破りの墮天使」

（ 実際の内容とは大幅に変更される場合があります）

書き直しのお知らせだいわこ

サブタイトルの通り、書き直しをします
正直いうとノリで一話目を書きました

そしてああいう結果になりました

でどうしようか考えているうちに色々なことが立て続けに起つりました
した

その間にこの小説のことは忘れ去っていました
その後は放置されていました

そして何ヶ月か経ちました

この小説のことを思い出して、ふと小説情報をみました

お気に入り件数：1件

なん・・・だと・・・?となりました
まさかのお気に入りしている人がいる
ならば書き続けよう、と三日坊主の決心をしました
ということでお書き直しをします
ついでに期待！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4547u/>

冒険したっていいじゃない、スライムだもの

2011年11月17日17時56分発行